

# ティーチング・ポートフォリオ

大学名 人間総合科学大学

所属 看護学科

名前 崎山 紀子

作成日 2026年5月9日

### 1. 責務（何を行っているか、何を果たしているか）

【担当科目】大学生入門（1年生必修科目）、地域交流看護実習（1年生必修科目）  
地域看護学概論（2年生必修科目）  
公衆衛生看護活動論（3年生保健師選択科目）、公衆衛生看護技術論（3年生保健師選択科目）  
健康看護論（4年生選択科目）、公衆衛生看護学実習ⅠⅡ（4年生保健師選択科目）  
統合実習（4年生必修科目）、看護研究Ⅱ（4年生必修科目）

#### 【教育活動】

4学年13期生担任、広報委員会、実習委員会

看護基盤から公衆衛生看護特有のコンピテンシーを獲得するため、医療職としての教養・マナーおよび人としての態度を育むことも自身の役割と考える。

### 2. 理念（教育に対する考え方）

人間を総合的に理解し、倫理的・協働的な態度で地域包括ケアを実践できる看護職者を育成する。特に公衆衛生看護領域では、科学的根拠に基づく健康増進と地域課題解決を重視し、学生らが生涯学習者として成長する基盤を築く。学生の困り事や不安に寄り添い、すべての学びが自分事として考えられるよう、サポーターとして共に歩む。

### 3. 方法（教育方法において大切にしていること）

アクティブ・ラーニングを基軸に、グループディスカッションや事例検討を活用し、学生の主体性を引き出す。座学でイメージしにくい場面では、動画教材を積極的に導入する。公衆衛生看護活動への興味関心を高めるために、自身がロールモデルとして保健師経験を具体的に示す。実習では地域現場との連携を強化し、体感的な学習環境を整備する。また、低学年からの教養・マナー、基礎的知識・技術、情報・ITリテラシーを重視すると共に、卒業後の継続学修基盤を構築する。

4. 成果（学生さんからの評価に対して、学生さんの学修成果について）

2026年度入職のため、現時点で講義・実習が進行中であり、学生からの評価や学修成果の報告はない。

5. 目標（教育活動の中短期目標と達成時期）

【中期目標】

自分自身をセルフケアしながら、目標に向けて日々の取り組みを実践・継続できる。

【短期目標】（前期終了時）

すべての学びが自分事として認識し、能動的に取り組むことができる。

授業後の振り返りシートを活用し、学生の主体的学びを促進するフィードバックを毎回実施する。

\* 表紙を含め、全体として、3～10ページ程度とします。

【添付資料】

\* TPの記載内容を客観的に示すためのエビデンスとなる資料項目を箇条書きで列挙ください。

（シラバス、開発教材、学生アンケート等、特に特徴的なものを列挙し、必要に応じて、すぐに確認できるようにしておきます。）